

# 都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所  
社会健康医学研究センター  
西田 淳志

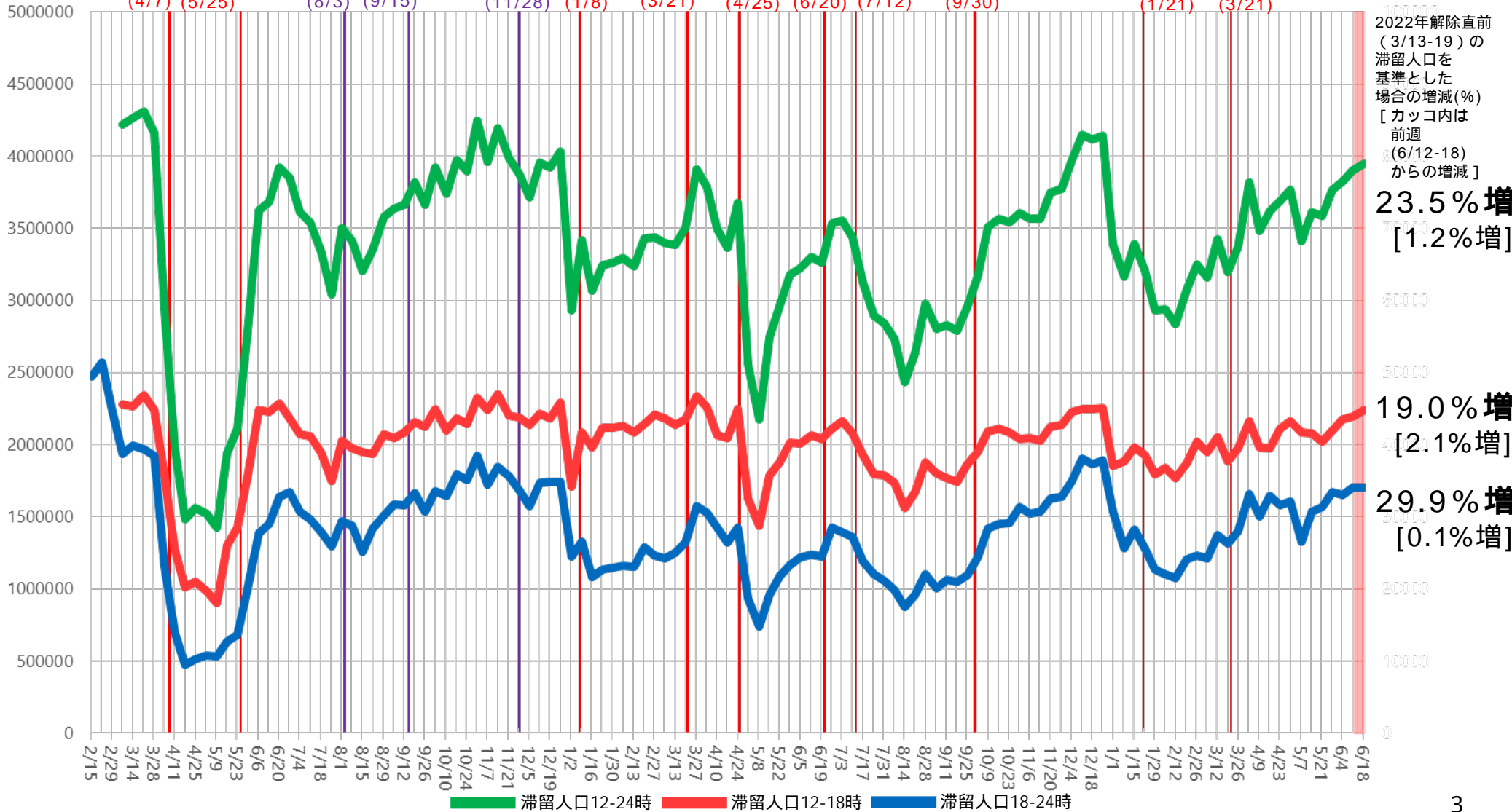
# 都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

## < 要点 >

- レジャー目的の夜間滞留人口は、先週から大きく増加することなく横ばいで推移（前週比：0.1%増）。
- 一方、実効再生産数はすでに1.0付近まで上昇。今後、大幅かつ急激に夜間滞留人口が増加すれば、再び感染拡大に向かう可能性あり。
- 引き続き、気を緩めず基本的な感染対策を継続していくことが重要。

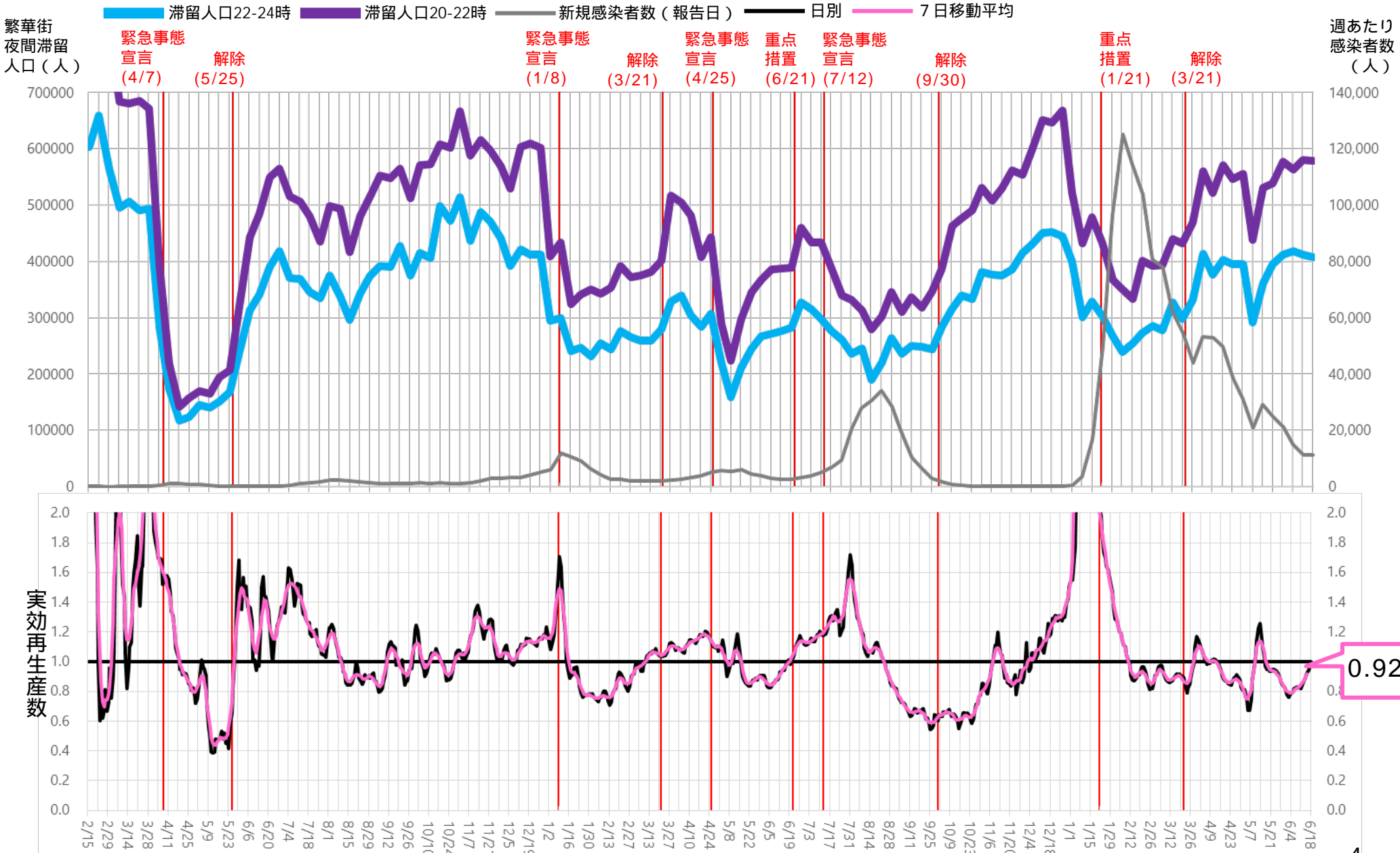
# 時間帯別主要繁華街滞留人口の推移：東京（2020年3月7日～2022年6月18日）

繁華街  
滞留  
人口  
(人)



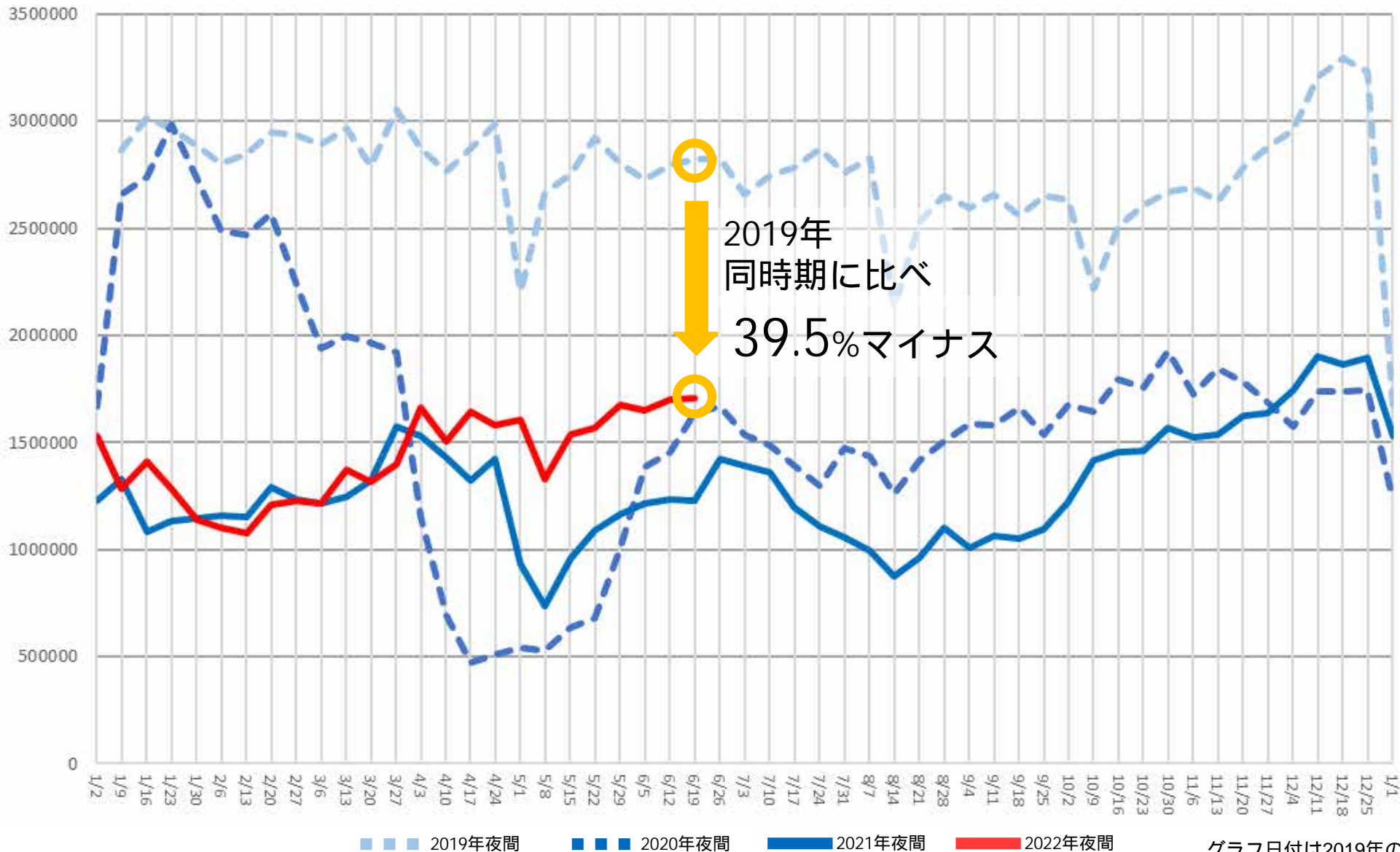
# 主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数：東京（2020年3月1日～2022年6月18日）

重点措置  
1/21-3/21



# 繁華街夜間滞留人口（18-24時）東京：2019年以降の推移（2019年1月6日～2022年6月18日）

繁華街  
滞留人口  
(人)

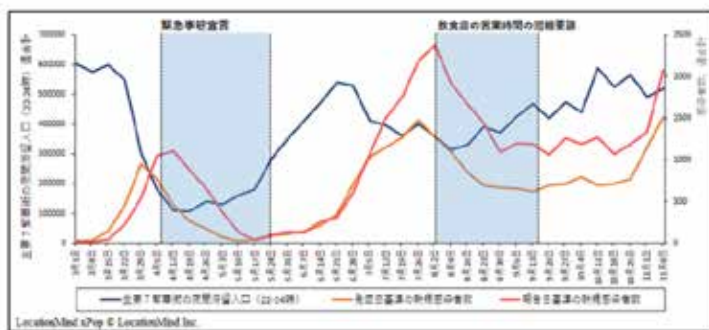


※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

グラフ日付は2019年の日付  
LocationMind xPop © LocationMind Inc.

# ハイリスクな滞留人口と感染状況との関連

- GPSの移動パターンから**主要繁華街(ハイリスクな場所)**に**レジャー目的(ハイリスクな目的)**で滞留したデータを抽出
- **夜間帯(ハイリスクな時間帯)**の滞留人口量を1時間単位で推定
- 繁華街夜間滞留人口データとその後の  
新規感染者数、実効再生産数との関連が確認されている



GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021